



この街で 一緒に  
福岡中央銀行

FUKUOKA  
CHUO  
BANK

2021年9月期  
中間期  
ミニディスクロージャー誌



## CONTENTS

- 1 目次・福岡中央銀行の概要
- 2 経営理念と行是行訓
- 3 トップメッセージ
- 5 第12次中期経営計画
- 7 財務ハイライト
- 9 TCFD提言に沿った気候変動への対応
- 11 ふくちゅうぎん Topics
- 15 株式情報

## 経営理念と行是行訓

### 経営理念

福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する。

### 行是

われわれは自助の精神に徹し、自らを育て、銀行を育て、地域になくてはならない福岡中央銀行にしよう。

### 行訓

われわれは常に福岡中央銀行の代表である。地元で親しまれ信頼される銀行員となり、中小企業専門金融機関としての使命に邁進する。

まず自らを  
育てよう

信頼される  
仕事をしよう

銀行と共に  
前進しよう

顧客に満足  
を与えよう

勇気ある  
開拓者となろう

写真提供：福岡市

### 福岡中央銀行の概要

創 立 1951年6月  
商 号 株式会社 福岡中央銀行  
(THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)  
本店所在地 福岡市中央区大名二丁目12番1号  
資本金 40億円  
預 金 5,600億円(譲渡性預金を含む)  
貸出金 4,279億円  
従業員 496名  
店舗数 41店舗(支店39・出張所2)  
ホームページURL

<https://www.fukuokachuo-bank.co.jp>

(2021年9月30日 現在)



マスコットキャラクター MUSBO (ムスボ)

MUSBO (ムスボ) は、「結ぼ!」です。  
“今日と明日をムスボ”  
“あなたと暮らしをムスボ”  
“あなたとあの人の、笑顔と笑顔を、ムスボ”  
そんな思いを込めて、名付けました。

皆さま方には、平素より福岡中央銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい状態にあります。ワクチン接種の進展等を受けて感染者数は減少傾向に転じており、あわせて各種政策の効果もあって、経済回復に向けて徐々に動き始めているところです。しかしながら、これまでの長期間にわたる感染症の影響は甚大であり、飲食や宿泊といった対面型サービス業を中心に、下押し圧力は依然として強く、感染症の今後の動向も含めて先行き経済は今なお不透明感の強い状況です。

私ども福岡中央銀行としては、引き続きお客さまの資金繰り支援に最優先で取り組むとともに、ビジネスマッチングやM&A、事業承継支援、そして事業再構築のサポートなど、お客さまそれぞれの実態に即した経営課題解決に全力で取り組んでまいります。

人口減少や少子高齢化などの構造要因に加え、コロナ禍を経てデジタル化が急速に進展したことにより、生活様式や価値観が大きく変容し、お客さまのニーズも多様化しております。そのような環境のもとで、将来にわたって地域経済を支え、金融仲介機能を十分に発揮していくためにも、第12次中期経営計画に掲げている「顧客本位の営業スタイルの進化」と「収益基盤の強化」の実践を通じて「地域になくてはならない銀行」となるために、役職員一同最大限の努力を尽くしてまいります。



2021年11月

取締役頭取 **古村 至朗**

また、カーボンニュートラルの実現に向けた気候変動対応への関心が世界的に高まっております。当行は、気候関連金融リスクを経営戦略上のトップリスクの一つと位置付け、さまざまな体制整備を進めており、7月に「福岡中央銀行環境方針」を制定し、気候変動にかかるリスク・機会の開示を推奨する「TCFD」提言への賛同を表明するとともに、10月にTCFD提言に基づく開示を行いました。今後とも、自らの事業活動に伴う環境負荷の軽減に努めていくとともに、お客さまの環境保全に向けた事業やお取組みを積極的にご支援させていただくことで、気候変動リスクの低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

第11次中期経営計画から継続して取り組む分野を活かしつつ、各戦略を着実に実践することで、『長期ビジョン』の実現を目指します。

営業戦略

業務戦略

収益基盤の強化

### 長期ビジョン

地域になくてはならない銀行

構造改革

人材戦略

経営管理強化

第12次  
中期経営計画

基本コンセプト

顧客本位の  
営業スタイル  
の進化

収益基盤  
の強化

人材・組織  
戦略

チャネル戦略

店舗網の再構築

非対面チャネルの拡充

2021.3

・目標としている経営指標と実績

第11次中計  
2018.4～2021.3

4つの基本方針

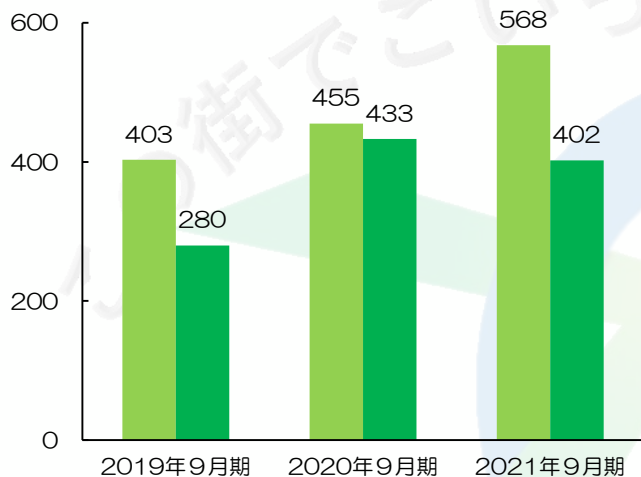
- ・顧客満足
- ・収益性
- ・人材育成
- ・コンプライアンス遵守

項目	2021年3月期 (実績)	2021年9月期 (実績)	2024年3月期 (最終年度目標)
当期利益	5億円	4億円	5億円
自己資本比率	9.18%	9.46%	8.5%以上
コアOHR ※	85.67%	83.74%	83%以下

※ コアOHR：経費÷業務粗利益（国債等債券関係損益、投信解約損益を除く）

■ 経常利益 ■ 中間純利益

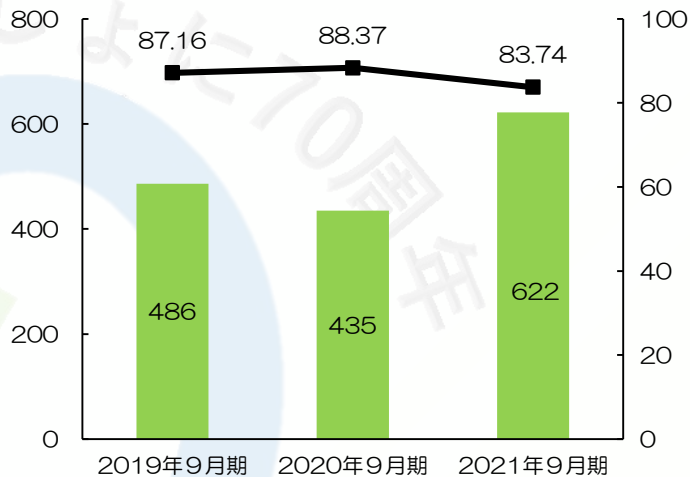
単位：百万円



■ コア業務純益（除く投信解約損益） ■ コアOHR<sup>※</sup>

単位：百万円（コア業務純益は左軸、コアOHRは右軸）

単位：%



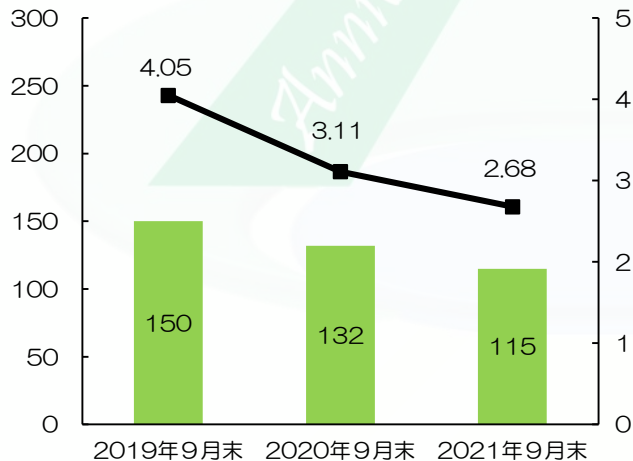
※ コアOHR：経費÷業務粗利益（国債等債券関係損益、投信解約損益を除く）

■ 金融再生法開示債権残高 ■ 不良債権比率

（金融再生法開示債権残高は左軸、不良債権比率は右軸）

単位：億円

単位：%

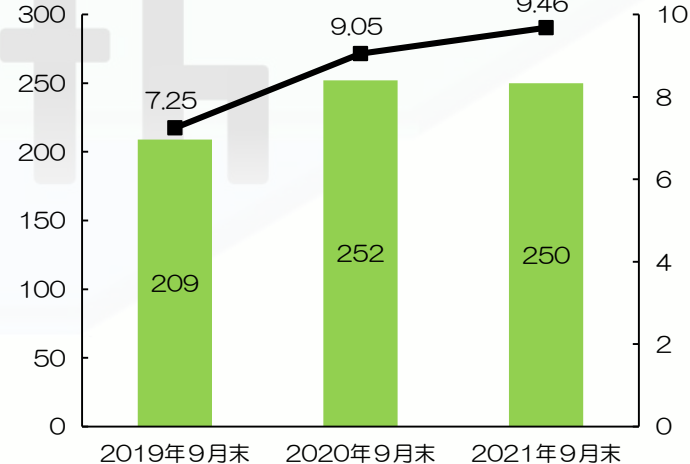


■ 自己資本 ■ 自己資本比率

（自己資本は左軸、自己資本比率は右軸）

単位：億円

単位：%



福岡中央銀行では、2021年7月にTCFD提言に対する賛同表明を行い、気候変動による影響に関する情報開示を積極的に  
行っています。

## ガバナンス

- 取締役会で策定した中期経営計画において、気候変動への対応を重要戦略に据えて取り組んでいます。
- 頭取を委員長とするリスク管理委員会において、気候変動リスクをトップリスクの一つと位置付け、その評価・管理について検討する体制としています。
- 気候変動リスクに関する重要な取組事項については、業務執行における重要事項について審議、決定を行う経営会議での協議を経て、取締役会に報告する体制としています。
- 2021年7月に「福岡中央銀行環境方針」を制定し、同方針に、役職員が一致協力して、本業の金融サービスを通じた活動や自らの企業活動において環境への配慮に努め、地域社会の持続的な発展に貢献していくことを明示しました。
- 「福岡中央銀行SDGs宣言」では、環境保全や環境負荷低減等気候変動対策を含む「地域環境保全」を重要課題の一つとして定めています。
- 「21世紀金融行動原則」や「COOL CHOICE」への賛同登録、「Fun to Share」への登録を行い、持続可能な社会の形成に向けた取組みを推進しています。

## リスク管理

### 〈気候変動リスクの管理体制〉

- 気候変動に関するリスクをトップリスクと位置付け、統合的リスク管理を検討するリスク管理委員会でリスク認識の共有を図り、当行取引先の事業活動に及ぼす影響や当行における業務継続体制を中心に、定量・定性両面から総合的な管理を実施していきます。

### 〈気候変動リスクを踏まえた投融資方針の公表〉

- クレジットポリシーに加えて、2021年10月、地球温暖化等気候変動リスクを含む地球環境に影響を及ぼす特定セクターに関する投融資方針を公表しました。同方針では、環境・社会に対して大きな影響を与えると考えられる特定のセクターに対して投融資取引を行う際には十分に留意した対応を行うこととしています。

### 〈気候変動対応に資する投融資基準の制定〉

- 気候変動対応に資する投融資基準を制定し、「グリーンローン原則（ローンマーケット協会）」や「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省）」等の国際原則や政府の指針に則して、リスク管理を行うこととしています。

## 戦略

### 〈機会〉

- 中期経営計画では、営業戦略の重要な柱として、環境に配慮した取り組みを支援しSDGsの目標達成に貢献することや、お取引先のカーボンニュートラルに向けた対応を後押しする提案を実施していくことを掲げています（時間軸：短期～長期）。
- お取引先の気候変動への対応力向上やカーボンニュートラルへの対応状況を踏まえた深度ある対話を通じて、事業課題を把握し、取引先のニーズに合ったソリューションを提供し、ビジネス機会の獲得につなげていきます（時間軸：短期～長期）。

### 〈リスク〉

- 気候変動に伴う主なリスクを以下のとおり認識しております。
- 今後は、TCFD提言で推奨されているシナリオ分析に関する知見とノウハウの蓄積に努め、当行への財務影響の評価を進めてまいります。

	リスクの主な事例	リスクの分類
移行 リスク	・規制強化や炭素税導入、技術革新への遅れ等によるお取引先の財務の悪化	信用リスク
	・消費者選好の変化や地球温暖化対応の遅れによるお取引先のブランド価値の低下	評判リスク
物理的 リスク	・豪雨・風水害等異常気象によるお取引先の事業活動の停止、有形資産の被災による資産価値の毀損	信用リスク
	・当行の営業拠点の毀損や行員の被災による業務の中断	オペレーショナル リスク

## 指標と目標

### 〈当行のCO2削減量の目標〉

- 政府は、2050年カーボンニュートラルの長期目標と総合的な目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度対比46%削減を目指すと言明しています。当行においても、政府の目標に沿って、CO<sub>2</sub>の削減を進めてまいります。

### 〈気候関連対応に資する長期目標の設定〉

- 2021年9月末の気候関連対応に資する投融資残高は43億円となりました。
- 地域の脱炭素社会の実現に向けて、気候変動対応に資する投融資の実行金額など、長期目標の設定を検討していきます。

## ■ 特定セクターに対する 投融資方針



当行では、SDGsの視点に基づき、地域社会と共に持続的な発展を目指しております。本業である投融資業務においては、環境や人権等社会的課題に配慮して取り組むこととし、環境・社会に対して大きな影響を与えると考えられる下記に示す特定のセクターに対して投融資取引を行う際には十分に留意した対応を行います。

1. 石炭火力発電事業
2. クラスタ爆弾製造関連事業
3. 非人道兵器事業
4. パーム油農園開発事業
5. 森林伐採事業

## ■ 福岡中央銀行環境方針



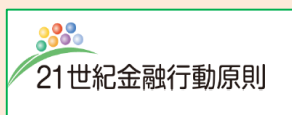
福岡中央銀行は、本業の金融サービスを通じた活動や自らの企業活動において環境への配慮に努め、経営理念に基づき、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

### 福岡中央銀行環境方針

1. 環境保全に関する法令・規則等を遵守します。
2. 商品やサービスの開発・提供を通じて、環境問題に取り組むお客さまを支援します。
3. 省資源、省エネルギー、廃棄物のリサイクルを推進し、環境負荷の低減に努めます。
4. 企業活動が環境に与える影響を定期的に検証し、改善と汚染予防のための取り組みをおこないます。また、環境に関する情報開示の充実に努めます。
5. 地域社会と対話しながら、地域の環境保全、生態系保全活動を推進します。

## ■ イニシアティブへの参画

福岡中央銀行は、以下のイニシアティブへ参画しております。



「21世紀金融行動原則」は、持続可能な社会づくりに向けた金融行動に最善の努力を行う等を掲げた7項目、およびこの原則を実践するための業務別ガイドラインからなります。



「Fun to Share」とは、地球温暖化対策の最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会を作っていくという気候変動キャンペーンです。



「COOL CHOICE」は、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のための国民運動であり、地球温暖化対策に資する「賢い選択」を求めるものです。



## 「福中銀グリーンローン」の発売 (愛称「ECOよかやん！」)



環境的に持続可能な経済活動を促進するSDGsの一環として、気候変動対応に資する融資を対象としたグリーンローンの取扱いを開始いたしました。

補助金申請支援やご融資金利面での優遇措置等により、お取引先の環境対策のための資金調達を支援してまいります。

### 【福中銀グリーンローンの概要】

ご利用いただける方	法人・個人事業主の方
お使いみち	環境対策を目的とした設備資金 ・再生可能エネルギーに関する事業 ・省エネルギーに関する事業 ・クリーンな運輸に関する事業 など
ご融資金利	当行所定の金利
ご融資形態	証書貸付
担保・保証人	必要に応じて徴求

## 福中銀SDGs私募債の取扱い開始 「よか未来の応援債」



地域経済の持続的な成長を支援するために、当行で私募債を発行されたお客さまから受け取る収益金の一部を、SDGsに貢献する団体等へ寄付する私募債の取扱いを開始いたしました。

### 【福中銀SDGs私募債のスキーム図】



## 「M&A支援機関登録制度」への登録

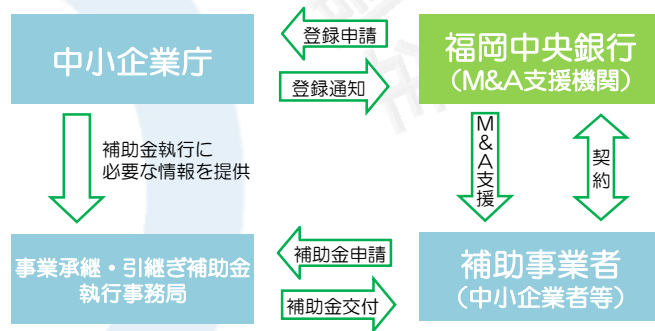


福岡中央銀行は、中小企業庁の「M&A支援機関」に登録されました。

本制度は、中小企業が安心してM&Aに取り組める基盤を構築するために創設されたものです。

支援機関として求められる事項を遵守し、今後も地域のお客さまの抱える事業承継に対する課題について、最適なソリューションを提供してまいります。

### 【関係図】



## 新格付システム稼働



信用リスク（与信先の財務状況の悪化等に起因して、損失を被るリスク）を管理するための主要なツールである信用格付の新システムが、10月26日(火)にスタートいたしました。





# 株式情報

## 株式の状況（2021年9月30日現在）

	発行可能 株式総数(株)	発行済 株式総数(株)	株主数(人)
普通株式	8,000,000	2,737,160	1,658
第1回A種優先株式	1,000,000	300,000	79
第2回A種優先株式	1,000,000	—	—

## 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	・ 定時株主総会 毎年3月31日 ・ 期末配当 毎年3月31日 ・ 中間配当 毎年9月30日
上場取引所	福岡証券取引所
証券コード	8540
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 ( <a href="https://www.fukuokachuo-bank.co.jp">https://www.fukuokachuo-bank.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

## 普通株式の所有者別状況（2021年9月30日現在）

